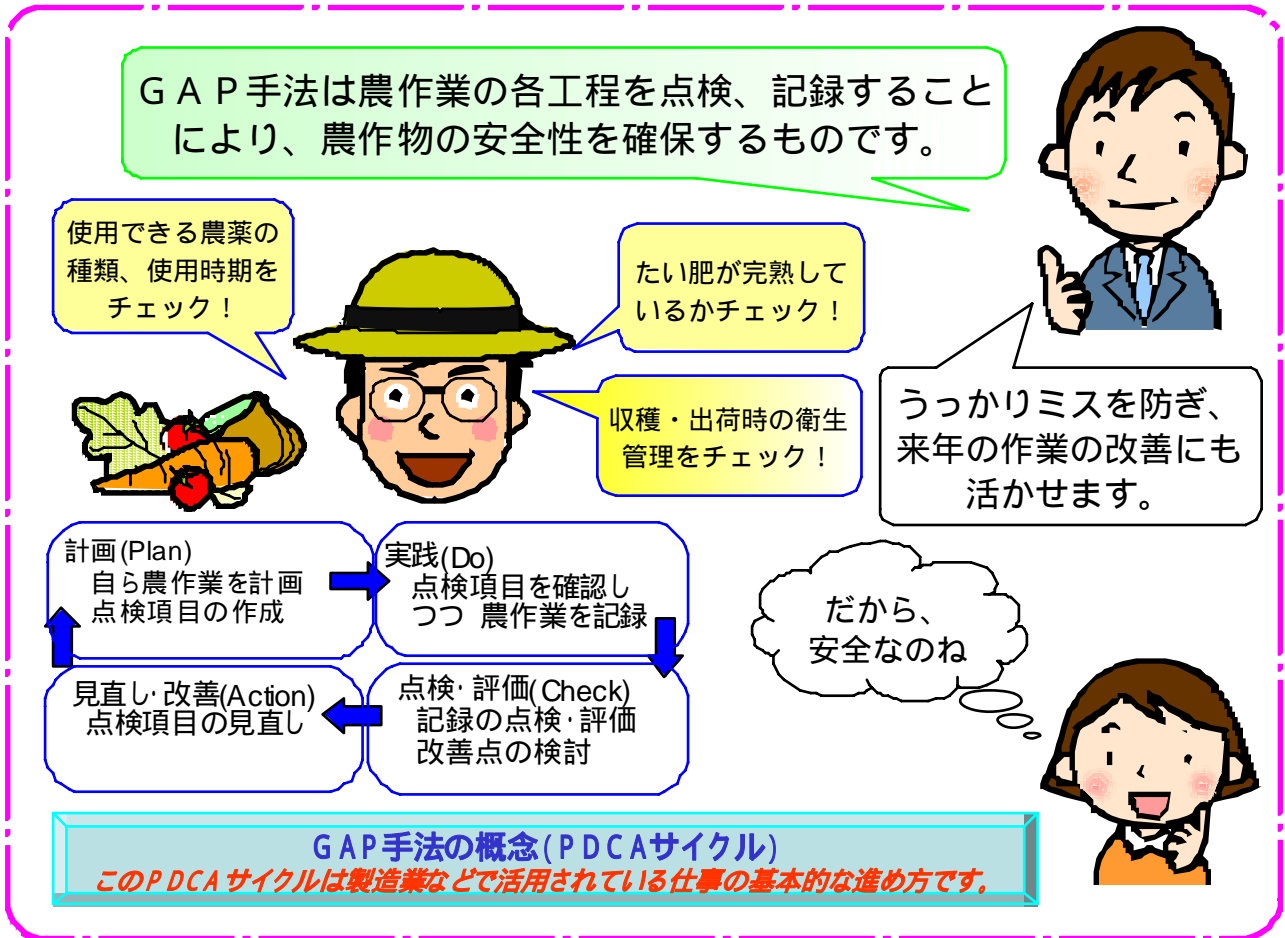


(参考)

ギャップ
GAP (農業生産工程管理)手法ってなんだろう？

GAPは、Good(より良い) Agricultural(農業生産) Practice(実践する) という英語の略で、「適切な農業を実践する」という意味で、「ギャップ」と呼びます。ヨーロッパから始まり、国際的に広がっている農業の生産段階における工程管理の手法です。



農産物の収穫後に検査を行う管理方法(結果管理)よりも、農作業の各工程を記録・点検する方法(工程管理)の方が、より効果的に安全な農産物の生産や管理コストに優れ、消費者の信頼確保にもつながります。

日本でもGAP手法の積極的な導入・普及を推進します。農林水産省では、平成23年度までに、おおむね全ての主要な産地(2,000産地)に、GAP手法を導入することを目標としています。